

Research Studio GET program 2026

“Research Studio”では、医療系シーズに特化した人材育成プログラムを実施します。

私たちは連携大学と協力して、医療系シーズに特化した起業人材育成プラットフォーム“Research Studio”を2018年から構築・運営しています。

2024年にはAMEDの「大学発医療系スタートアップ支援プログラム」に採択され、研究構想段階のニーズ探索から開発計画・事業計画の策定、海外展開まで、研究開発段階に応じた段階的な支援をGET (Global Entrepreneur Training)プログラムとして展開しています。

多様な専門分野のトップリーダーからなるメンター陣と、臨床医や起業経験者のファシリテーター・チューターが、医療系シーズの実用化を目指す起業人材に実践的なトレーニングを行います。

本イベントでは、開発計画策定(TPP)コースの参加者をピッチにより選考します。

プログラム第1弾

TPPコース参加者
選考会

4/25 (土) **ピッチ登壇者
募集!**
9:30 - 17:00

日本橋ライフサイエンスハブ LSH-A会議室

中央区日本橋室町1丁目5-5
室町ちばぎん三井ビルディング8階

<https://www.nihonbashi-lifescience.jp/hub/>

参加費無料

ピッチ登壇エントリー
聴講申込は**こちら**から！

JOIN NOW



<https://resstplatform.org/update/2093/>

■ ピッチ登壇者 申込締切 ■

3/31 (火) 正午

■ 聴講者 申込締切 ■

4/20 (月) 正午

Research Studio 8年間の実績

(FY2018~FY2024)

44 チーム(130名)支援

24 社 起業

3 社 米国に設立

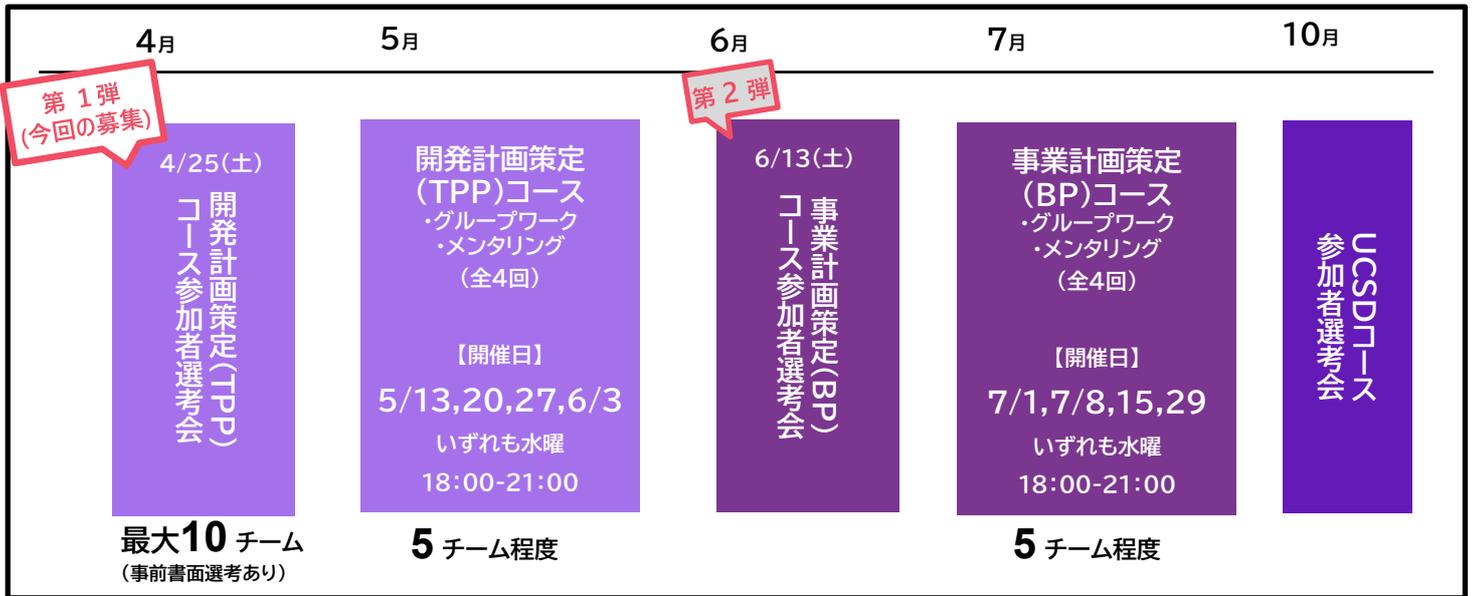
23 チーム 資金調達

総額 **130** 億円

11 チーム 非臨床POC
取得

3 チーム 治験実施中





対象者:参加区分

①ピッチ登壇者 TPPコース参加希望者

- ・アカデミア発の医療シーズをもとに、起業を目指している方(シーズをお持ちの方、またはビジネス経験のある方)。
- ・5月以降に予定している「開発計画策定コース」の選考会として実施される本イベントに参加し、保有する医療シーズをブラッシュアップしたい方。

メリット

- ・講義やピッチに対するメンタリングを通じて、アイデアやシーズをより魅力的に磨き上げることができます。
- ・開発計画策定コースに採択されると、専門家による踏み込んだメンタリングを受けられます。
- ・聴講者の中からマッチング希望者と出会い、チームメンバーを増やすことができます。

②聴講者 講演聴講 & ピッチ観覧

- ・医療系シーズの開発・起業に関心があり、情報収集やネットワーキングを目的とする方。
- ・ビジネス/医療・臨床開発の経験を活かし、ピッチ登壇者チームへの参画(マッチング)を希望する方。
- ・学生等でインターン参加を希望する方。

メリット

- ・スタートアップに関心のある方が、将来に役立つ実践的な情報を得られます。
- ・講義やピッチに対するメンタリングを通じて、医療系シーズの研究開発プロセスを体系的に理解できます。
- ・今後のプログラムにインターンとして参加し、スタートアップの現場を間近で学ぶ機会があります。
- ・ネットワーキングを通じて、人脈や新たなつながりを広げられます。

当日タイムテーブル (2/27暫定)

*内容は予告せず変更されることがあります。予めご了承ください。

09:30	開始
午前	・開会あいさつ ・来賓あいさつ ■ 講演 ■ 「大学発スタートアップの楽しさと難しさ」 池野 文昭氏 (STANFORD UNIVERSITY)
	ほか
昼休憩	1時間程度
午後	■ 開発計画策定(TPP)コース選考会 ■ ・ピッチによる審査(最大10チーム) ・Research Studio人材育成プログラム(事業紹介) ・TPPコース採択者発表 ・閉会あいさつ ・フォトセッション
17:00	終了

講演



大学発スタートアップの楽しさと難しさ

池野 文昭氏
STANFORD UNIVERSITY (スタンフォード大学)

自治医科大学卒業。2001年からスタンフォード大学循環器科での研究を開始し、米国医療機器ベンチャーの研究開発、動物実験、臨床試験等に関与する。医療機器分野での豊富なアドバイザー経験を有し、日米の医療事情に精通している。医療機器における日米規制当局のプロジェクトにも参画し、国境を超えた医療機器エコシステムの確立に尽力している。2014年からは、Stanford Biodesign Advisory Facultyとして、医療機器分野の起業家養成講座で教鞭をとっており、日本版Biodesignの設立にも深く関与。日本にもシリコンバレー型の医療機器エコシステムを確立すべく、精力的に活動している。

ただいま講演を調整中です